

幸楽苑

全国1400店舗

取締役1000人をめざす

二〇〇三年三月、北海道・東北の外食産業で初めて、東証一部上場企業となった。

三百九十円のラーメンが大人気で、「ラーメンのマクドナルド」あるいは「ラーメンのサイゼリヤ」として、今や全国的に注目されている。二〇〇三年三月期の連結売上高百五十八億八千五百万円（前年同期比二五・六％増）、経常利益十三億九千四百万円（同三五・四％増）で、九期連続の増収増益。二〇〇四年三同期は同売上高百九十五億六千五百万円、経常利益十八億四千五百万円を見込む。

ラーメンの世界にマス・マーチャンダイジング・システム（大規模商品化計画）とマス・ストアーズ・オペレーション（大規模店舗運営システム）を実現したことが成長の要因。地球規模で大量の食材を集め、商品の八割以上を郡山の自社工場内で製する。徹底した機械化と職人の味の高度な融合により「安く、美味しく、利益が出る」ラーメンチェーンを実現した。

二百九十円ラーメンの投入も期待されており、さらなる攻勢をかける。この二月には東京都区内で初めての直営店「幸楽苑」道玄坂店と赤坂店を出店。それぞれ年商二億円のペースで売れている。七月には小田原工場を着工、首都圏への本格進出に挑む。



▶ 新井田 傳社長

▼ 幸楽苑の店舗



「この仕組みをつくるのに二十九年かかった。本当に自信がついたのはこの三、四年」と新井田傳社長は言う。

創業は一九五四年。新井田社長の父、司氏が会津若松市で開いた「味よし食堂」にさかのぼる。六三年、新井田社長は大学受験に失敗し浪人中に、寂れた食堂を継ぐ決意をした。「福島県で一番の食堂にして、親孝行をしよう」と思ったのだ。七〇年、六店舗の時点で株式会社化した。七五年、三十歳の年にチェンステア理論に出会い「これだ」と思った。現在、一時間に九千個の餃子をつくるマシンが三台稼働している同

会社データ
 社名 幸楽苑
 所在地 福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
 TEL 024-943-3351
 創業 1954年
 売上高 195億6500万円
 (2004年3月期予想)
 経常利益 18億4500万円(〃)
 社員数 547人(2003年3月)
 事業内容 ラーメン店「幸楽苑」「会津っば」、和食「伝八」などの展開。

社だが、最初につくった餃子づくり機はオモチャのようなものだった。しかし、「そこから始めたからよかった」のだと言う。職人の味を機械で実現するための試行錯誤を限りなく重ねてきたことがノウハウとなっている。

大きな転機は八九年の大改革。八八年三月の時点で一億円の利益を出していたが、同年九月、高卒の入社希望者が一人も来なかった。「このままでは将来はない」と思い、八九年、合宿をして、大改革案を発表した。

「現在五十七日の年間休日、九〇年七十五日、九一年九十日、九二年百五日とする。現在二カ月の年間賞与を、九〇年三カ月、九一年四カ月、九二年四・三カ月とし、株式公開します」

一歩間違えば倒産の危険があったが、見事にやり遂げ、九二年二億円の利益を出した。現在の大目標は全国千四百店舗、売上高千四百億円を達成すること。福島県だけで六十六店舗出している実績から見ても、一県あたり三十店は出せる。これを四十七都道府県で展開すれば千四百店になる。そして、それだけの規模になれば関連会社は百社できる。一社あたり十人の取締役をつくれれば、一千人の取締役ができる、というのが新井田社長のもう一つのビジョンである。